

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 新温泉町

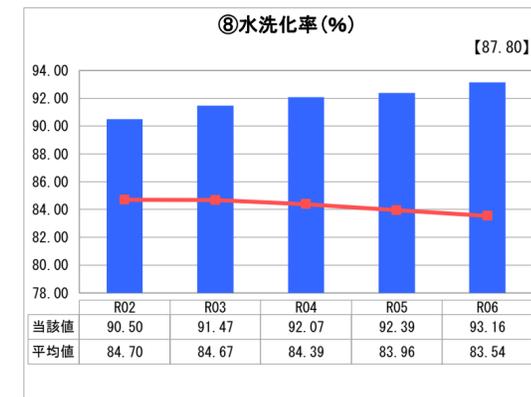
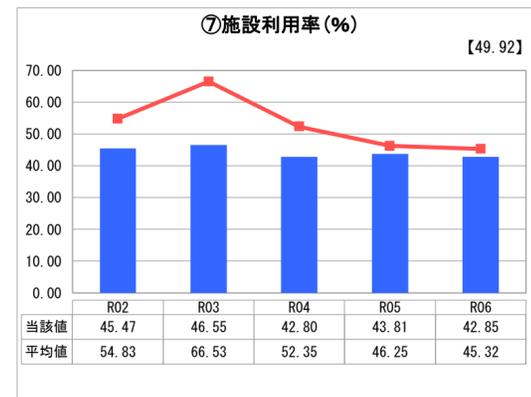
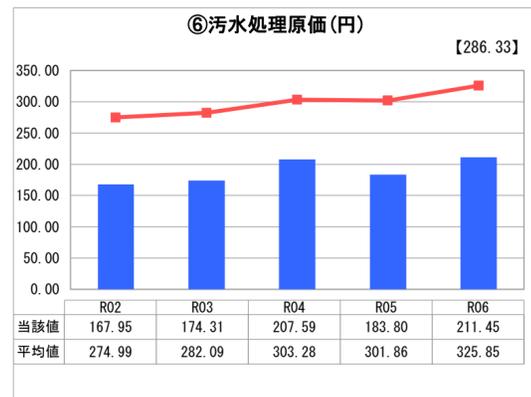
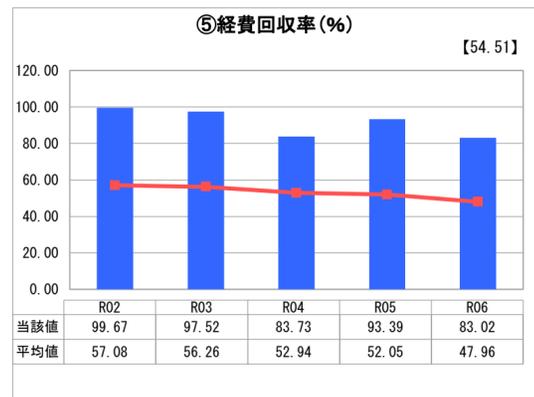
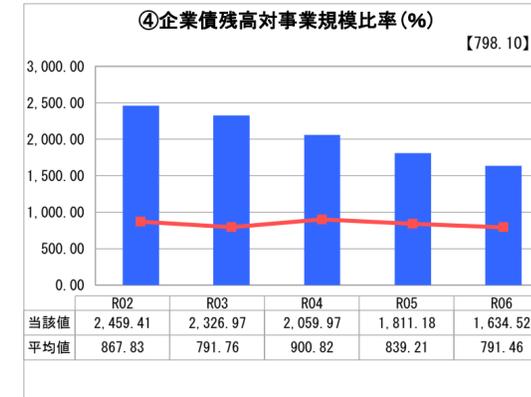
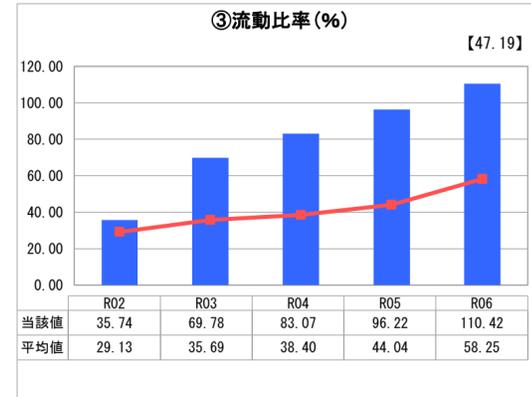
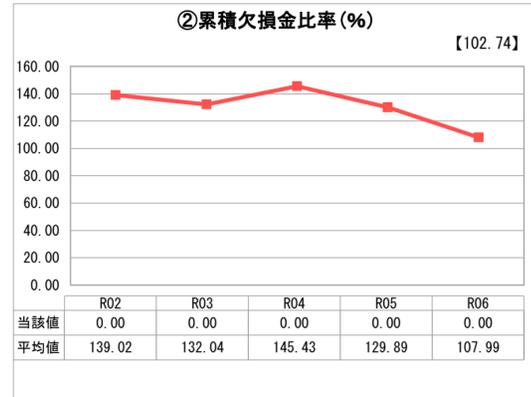
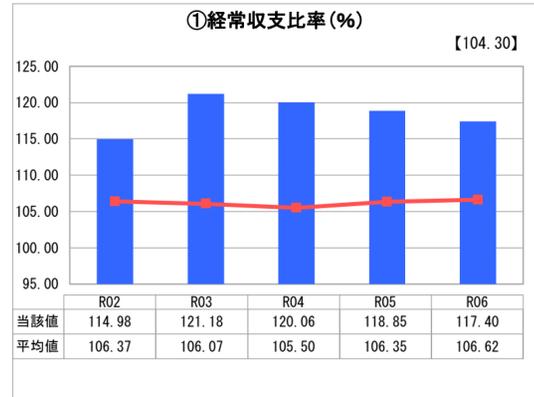
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.81	22.96	91.07	4,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,829	241.01	53.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,909	0.94	3,094.68

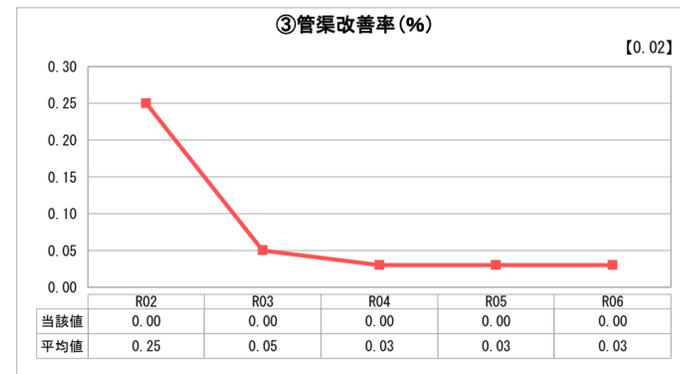
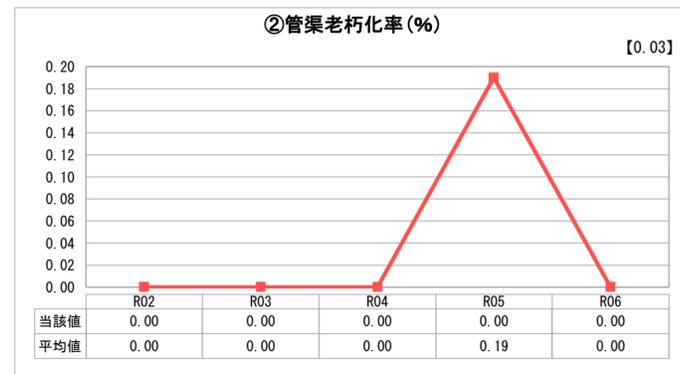
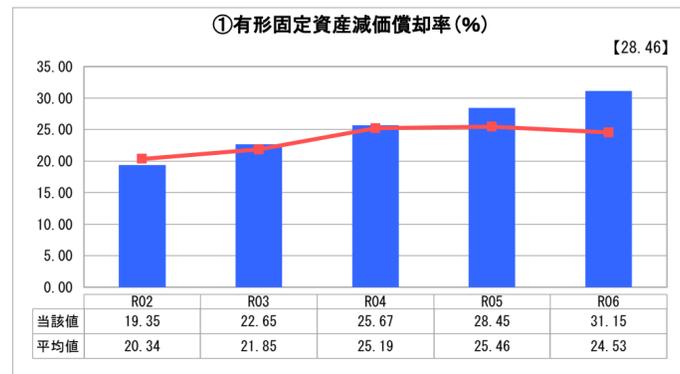
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率および③流動比率、⑧水洗化率は、類似団体平均を大きく上回る水準を維持している。②累積欠損金については当町では発生していない。④企業債残高対事業規模比率は、償還のピークを過ぎ下降傾向にあるものの、類似団体平均と比較すると依然として高い状況にある。⑤経費回収率は前年度比で10.37ポイント減少したが、類似団体平均より高い数値を維持している。今後は100%を上回るよう、適正な使用料収入の確保と汚水処理費の抑制が求められる。⑥汚水処理原価は、汚水処理費が適切に抑制されていることから、類似団体平均を大きく下回る低コスト化を実現している。一方で、⑦施設利用率は類似団体平均を下回っており、近年の節水意識の向上や少子高齢化に伴う人口減少が影響していると考えられる。経営の健全性・効率性を堅持するため、引き続き経費の節減に努めるとともに、接続率向上策の実施や施設の統廃合を含めた最適化の検討を進めていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、前年度比2.7ポイント増となり、施設の老朽化が着実に進行している。③管渠の更新・改良については、現時点での具体的な計画はない。施設供用開始から30年が経過し、現在14の処理区において経年劣化に伴う修繕等を実施している状況にある。今後は、策定済みの「最適化整備構想」に基づき、整備計画の内容を適宜見直しながら、施設の長寿命化に向けた計画的な整備を推進し、持続可能な経営基盤の構築を目指す。

全体総括

経営状況は、経常収支比率や汚水処理原価が類似団体平均より優良であり、健全な運営が維持されている。一方で、高い企業債残高や施設利用率の低迷、供用開始から30年以上が経過したことによる施設の老朽化が喫緊の課題となっている。今後は、使用料収入の確保と徹底した経費節減により、経費回収率100%超を目指す。また、令和7年3月に改定した「経営戦略」に基づき経営基盤の強化を図るとともに、「最適化整備構想」に沿った施設の長寿命化対策を推進する。さらに、令和7年度に策定予定の「下水道施設統廃合計画」を軸とした施設の最適配置を進めることで、持続可能な経営基盤の構築に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。